

令和2年度農業普及指導活動の外部評価の結果について

令和2年度において、「農業普及事業における普及活動の外部評価実施要領」に基づき、普及指導体制、高岡農林振興センター及び砺波農林振興センターを対象に行った農業普及指導活動の外部評価の結果について、下記のとおり公表します。

記

1 外部評価会議の開催

(1) 高岡農林振興センター

- ①開催日時：令和2年11月9日（月）
- ②開催場所：現地（射水市内）及び高岡農林振興センター

(2) 砺波農林振興センター

- ①開催日時：令和2年11月16日（月）
- ②開催場所：現地（砺波市内）及び砺波農林振興センター

2 外部評価委員

氏名	役職等
岩内 秀徳	富山大学経済学部 教授
吉田 武男	税理士法人富山合同会計 税理士
橋本 喜洋	富山県農業法人協会 会長
米島 晴雄	富山県野菜出荷組合協議会 会長
大岩 満	富山県農業協同組合中央会 農業対策部長

3 対象課題

- (1) 対象となるセンターの全ての濃密指導計画について評価を実施した。
- (2) そのうち各センターごとに以下の2課題について詳細な報告を行った。

○高岡農林振興センター

課題 No.	課題名	担当
1	中山間地域の活性化	企画振興課
2	射水農業の営農体制の構築と主穀作経営体の経営基盤強化	農業普及課 射水班

○砺波農林振興センター

課題 No.	課 題 名	担 当
1	実需者ニーズに対応した園芸品目の生産拡大と販売力強化	担い手支援課 園芸振興班
2	担い手を核とした地域営農体制の構築と担い手経営体の経営発展	農業普及課 砺波班

(3) なお、併せて県の普及指導体制及び人材育成等について評価も行った。

4 評価委員の意見及び対応措置について

(1) 県の普及指導体制や人材育成並びに新川及び砺波の各農林振興センターで詳細な報告を行った課題への意見及び対応措置については、別紙のとおり。

(2) その他の濃密指導計画における主な意見としては、以下のとおりであった。

センター名	課 題 名	主 な 意 見
高 岡	農業経営の高度化・複合化と次代につなぐ生産体制の構築	・管内には農業法人が多数あるが、労働賃金、労働者の年齢構成の調査表などがあれば経営改善に役立つのではないかと。
高 岡	園芸産地の基盤強化	・生産者が、継続的に安定した経営ができる生産計画、販売戦略を検討してほしい。
砺 波	農産物直売・農産加工組織の育成強化による地産地消の推進	・直売所売上高、地場産食材使用率、加工組織売上高ともに活動強化が実を結び年々増加傾向にあることは非常に評価できる。
砺 波	次代につなぐ地域営農体制の構築	・集落営農等の法人化と同時に事業継承の計画を立てることも検討してほしい。